

循環式IH調理ワゴン
ARIACHEF PRO アリアシェフプロ
AC01-961

取扱説明書



もくじ

安全上のご注意	2～5	お手入れのしかた	22～29
設置について	6	お手入れの際のお願い	22
使用上のお願い	6	取りはずしのしかた	23
製品について	7～8	取り付けのしかた	24
製品の特長	7	フィルターの取り付け・取りはずし	25
各部のなまえ	8	送風機の油抜き	27
設置のしかた	9～14	各部品のお手入れのしかた	28
移動のしかた	14	各フィルターについて	30
使いかた	15～21	故障かなと思ったら	31～32
使用できる器具	15	仕様	32
電源を入れる・切る	16	アフターサービス	33
吸気運転をする	16	修理を依頼される時は	34
IHヒーターを使う	17～21	保証書	35

警告

使用者、管理者が変わった場合には必ず本書を読ませ、指導をおこなってください。
本書を読まずに操作やお手入れなどをおこなうと、けがや事故の原因になります。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、正しくご使用ください。
お読みになったあとはいつでも見られるところに大切に保管してください。

4202 1583



安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。

また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。

いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意

：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

お読みになったあとは、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

絵表示の例



○ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。



● 記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。



警告



分解・修理
改造禁止

- 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造はしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります



濡れ手禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



使用禁止

- 交流単相 200V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



使用禁止

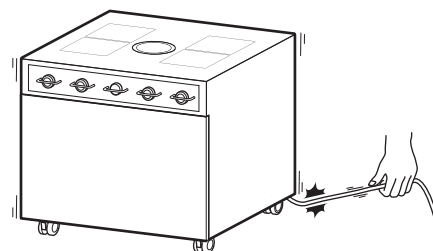
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないこと
ショートなどによる感電や火災の原因になります



禁止

- 移動などの際、電源コードを引っ張らないこと

コードが断線し、ショートなどによる感電や火災の原因になります



禁止

- 電源コードや電源プラグが破損するようなこと（傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、重いものを載せるなど）はしないこと

コードが断線し、ショートなどによる感電や火災の原因になります



禁止

- 延長コードを使用する場合は、束ねたままの状態で使用しないこと

異常発熱して発火することがあります

安全上のご注意



警告



禁止

- 排気口やすき間に、ピンや針金などの金属類や異物、指を入れないこと
火災・感電・けがの原因になります



使用禁止

- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使用したり、幼児に触れさせたりしないこと
感電・けが・やけどの原因になります



禁止

- トッププレートに衝撃を加えないこと
トッププレートはガラス製です
万一ひびが入ったり割れた場合、そのまま使うと過熱や異常動作・感電・けがの原因になります

※ このような場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。



禁止

- トッププレートの上に次のようなものを置かないこと
例) 缶詰・湯たんぽ・アルミホイル・アルミ製容器・アルミ製レトルトパック・ボンベ・カセットコンロ・その他電気製品

加熱した場合、容器が赤熱したり、火災・爆発・やけどの原因になります



禁止

- 揚げ物をする際は、少量の油で調理しないこと
油が少ないと油温が上がり過ぎ、発火の原因になります



禁止

- 揚げ物調理中はそばを離れないこと



禁止

- フランベなどの炎を使った調理はしないこと
本体内部に炎が吸い込まれて製品の故障や火災の原因になります



禁止

- 鍋などの下に紙や各種汚れ防止カバーなどを敷いて使用しないこと
熱で紙などが焦げたり、発煙・発火の原因になります

※ 各種汚れ防止カバーとは、トッププレートと鍋やフライパンの間に敷き、トッププレートの汚れを防ぐためのものです。



必ず守る

- 定格 30A 以上のコンセントを単独で使用する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります



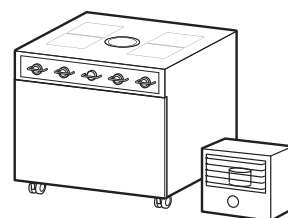
必ず守る

- 延長コードを使用する場合は、定格 30A 以上のものを使用すること
異常発熱して発火することがあります



換気をする

- 燃焼器具と併用して使用する場合は、必ず換気をする
本製品は屋外への排気および換気をおこないません
ガス機器等の燃焼器具を使用する場合、必ず別途換気をおこなってください
一酸化炭素中毒の原因になります



プラグを抜く

- 異常時、故障時は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜くこと
感電や発火・発煙の原因になります

※ 下記のような場合は直ちに使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜いて修理を依頼してください。

<異常時の例>

- ・電源コードを動かすと止まる
- ・運転中に異音がしたり、激しく振動する
- ・本体が異常に熱い、こげ臭いにおいがする



ほこりをとる

- 電源プラグは、刃および刃の取付面にほこりが付着している場合はよくふくこと
火災の原因になります

安全上のご注意



警告



必ず守る

- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込むこと
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります



必ず守る

- フィルターは必ず当社純正品を使用すること
それ以外のフィルターを使用すると製品の故障や火災の原因になります



必ず守る

- 炒め物・焼き物をするときは、次のことを必ず守ること
少量の油を使うため油温が急激に上がり、発煙・発火の原因になります
・ そばを離れない
・ 加熱しすぎない（予熱の火力は弱めにする）



必ず守る

- 水や食材を加熱するときは、突然沸騰して飛び散ることがあるため、加熱前によくかき混ぜること
特にだし汁・みそ汁・カレー・牛乳などの汁物にはご注意ください
やけど・けがの原因になります



必ず守る

- 鍋は加熱部の中央に置くこと



必ず守る

- 底が変形していない、平らな鍋を使用すること



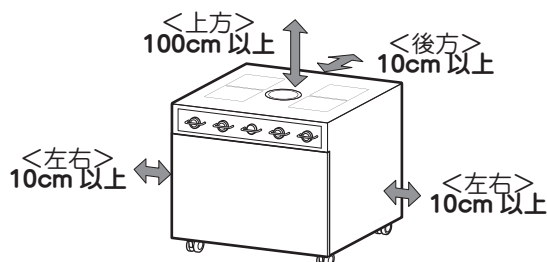
プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
感電やけがをするおそれがあります



必ず守る

- 壁や周囲から以下の距離を離して設置すること
左右・後方まで 10cm 以上
上方 100cm 以上



注意



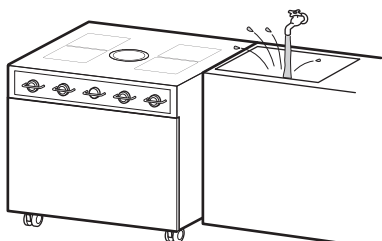
禁止

- 調理以外の目的で使用しないこと
過熱・異常動作をして発火・やけどをすることがあります



使用禁止

- 高温・多湿の場所や水のかかる場所で使用しないこと
ショートなどによる感電や火災の原因になります



禁止

- 本体の上に乗ったり、座ったりしないこと
転倒によりけがをしたり、トッププレート破損するおそれがあります



接触禁止

- 運転中は、指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



禁止

- トッププレートの上に片手鍋などのとっての長い鍋を載せたまま、前扉を開けないこと
鍋が転倒してやけど・けがの原因になります

安全上のご注意

⚠ 注意



禁止

- 空だきをしたり、加熱しすぎないこと
鍋の温度が上がり、やけどや調理物の発火、鍋の変形や破損、トッププレートの破損によるけがの原因になります



禁止

- 揚げ物をする際は、他の器具（ガスコンロなど）であらかじめ加熱した油を使用しないこと
温度制御装置が働かず、異常過熱し火災の原因になります



使用禁止

- ベンジンやシンナーで拭いたり、殺虫剤をかけたりしないこと
変形や変質、変色の原因になります



禁止

- 本体の上に鍋などを載せたまま本体を移動しないこと
鍋がすべり落ち、内容物がこぼれてやけどやけがをするおそれがあります



接触禁止

- 高温注意警告表示の点滅中は、トッププレートや鍋に触れないこと
やけどのおそれがあります



正しく設置する

- 不安定な場所に設置したり、傾いた状態で設置しないこと
鍋がすべり落ち、内容物がこぼれてやけどやけがをするおそれがあります



医師に相談する

- 医療用ペースメーカーをお使いの方が本製品を使用される場合は、医療用ペースメーカーの取扱説明書および医師の指示に従うこと
本製品の動作がペースメーカーに影響を与える場合があります



注意

- 前扉を開閉する際は、開閉アームのすき間に指などを挟まないよう注意すること
けがをするおそれがあります



必ず守る

- 電源コードの破損によりコードを交換する場合は、危険を防止するため、製造業者もしくはその代理店、または同等の有資格者がおこなうこと



注意

- 揚げ物の調理中は、飛び散る油に注意すること
油が飛び散りやけどの原因になります



電源を切る

- 調理中、油煙が多く出たら電源スイッチを「OFF」にし、電源を切ること
油が高温になっているため続けて加熱すると発火し、火災の原因になります



注意

- 室内くんじょうタイプ（発煙型）の殺虫剤を使用する際は運転をしない
本体内部に薬剤成分が蓄積し、その後運転したときに薬剤成分が放出され、健康を害する原因になります
殺虫剤の使用後は、十分換気をしてから運転してください



プラグを抜く

- 長期間ご使用にならないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
絶縁劣化による感電や漏電火災の原因になります



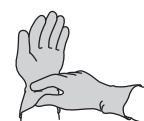
プラグを持って抜く

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜くこと
電源コードにキズが付き、火災や感電の原因になります



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



プラグを抜く

- 本体を移動するときは、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
コードが断線し、ショートなどによる感電や火災の原因になります



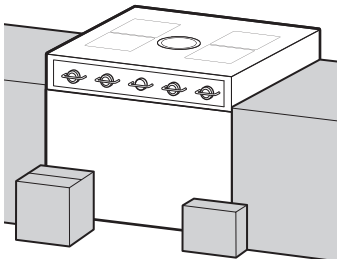
電源を切る

- 使用後は電源スイッチを「OFF」にし、電源を切ること

設置についてのお願い

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● 直射日光の当たる場所や暖房器具の熱が直接当たる場所に設置しないでください
変形や変質、変色の原因になります | <ul style="list-style-type: none"> ● 扉や窓などから入る風や、エアコンの風の影響を受けないようにしてください
煙の捕集性能が悪くなる場合があります |
| <ul style="list-style-type: none"> ● カーテンなどで吸込口・吹出口※がふさがれる場所に置かないでください
誤動作や故障の原因になります
※ 吹出口は本体の底部にあります。 | <ul style="list-style-type: none"> ● 長期間、同じ場所で使用を続けると、製品の吸い込み気流により周辺の床・壁などが汚れることがあります
また、毛足の長いカーペットではキャスターの跡がつくことがあります（製品質量：110kg） |

使用上のお願い

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ● トッププレートの上に下記のような磁気に弱いものを載せないでください
ICカード・キャッシュカード類などは記録が消える原因になります
テレビ・ラジオなどは雑音や受信障害の原因になります | <ul style="list-style-type: none"> ● トッププレートの中心には、物を乗せないでください
ガラスの破損の原因になります |
| <ul style="list-style-type: none"> ● トッププレートの上でIHジャー炊飯器などの電磁誘導加熱式の調理機器を使わないでください
故障の原因になります | <ul style="list-style-type: none"> ● フィルターに市販のフィルターを重ねて使用しないでください |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 全体の換気は別途おこなってください
本製品には換気機能はありません
建築基準法に従った換気設備が別途必要となります | <ul style="list-style-type: none"> ● 汚れてきたらその都度お手入れをしてください
汚れたままで使用を続けると、性能の低下や故障の原因になります |
| <ul style="list-style-type: none"> ● 本製品の周囲に物を置くなどして、吹出口をふさがないでください
誤動作や故障の原因になります
吹出口は本体の底部にあります | <ul style="list-style-type: none"> ● 内部に液体などが入った場合、故障するおそれがあります
多量に入ってしまったら、本体が動作しない、異音が出るなどの場合は、お買い上げの販売店または富士工業株式会社「お客様ご相談窓口」（→ 33 ページ）までお問い合わせください |
|  | <ul style="list-style-type: none"> ● フィルターは定期的に交換してください
本製品は、エアフィルターおよび脱臭フィルターの2種類の交換用フィルターを搭載しています
長期間交換しないで使用しつづけると、においが除去できず、性能を発揮できない場合があります
（交換用フィルターのご案内については→ 30 ページをご覧ください。） |

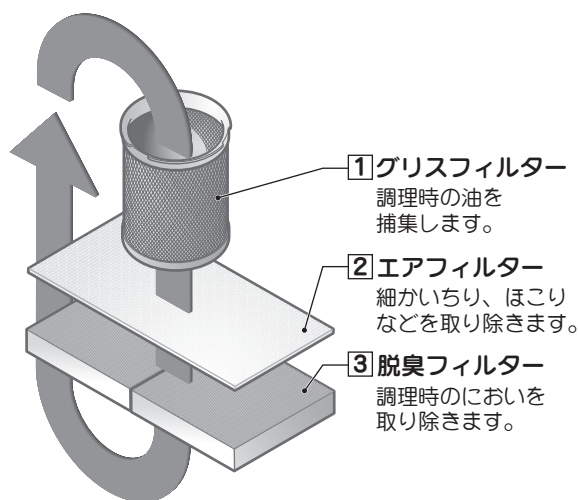
製品について

製品の特長

本製品について

調理時に発生するにおいを独自のフィルター機能で低減させ、室内にきれいな空気を循環させます。

フィルターの構成



脱臭フィルター・エアフィルターの交換について

フィルターの交換時期は本製品のご使用頻度により異なります。においの脱臭性能が低下したと感じたら、フィルターを交換してください。

※ 交換の際は各フィルターともに本製品専用のフィルターをご使用ください。

お願い

使用済みの各フィルターは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理してください。

吸気運転停止装置について

炎などによる異常な高温を感知すると吸気運転側の電源回路を遮断し、製品を保護する安全装置を備えています。万が一吸気運転停止装置が作動した場合は、弊社「お客様ご相談窓口」(➡ 33 ページ) にご連絡ください。

安全・安心機能 (IH ヒーター)

鍋検出機能

鍋などを加熱ゾーンに載せて操作すると、およそ 2.5 秒間検知動作をおこない、調理に適切な機器かを判断します。

※ IH 非対応の鍋など、適切な調理器具として検知されない場合は表示部に「」が表示され、加熱をおこなわずに 10 分後、自動的にオフになります。

送風機自動オフ機能

運転中にトッププレート中央の吸気フラップを閉じると、送風機の電源がオフになります。開くと送風機がオンになり、吸気が再開します。

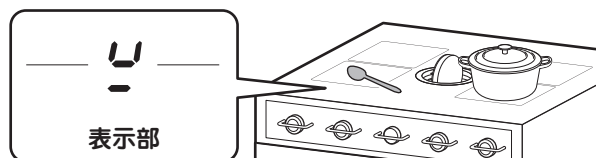
高温注意警告

調理後、トッププレートのガラス面が高温になっている場合は、表示部に「」が点滅してお知らせします。

※ 火カダイヤルを【0.】に戻しても、ガラス面が熱い間は点滅を続けてお知らせします。

小物発熱防止機能

ナイフやスプーンなど、鍋以外の金属製の小物が加熱ゾーンに置かれた場合でも、検知して加熱をおこないません。



切り忘れ防止機能

加熱したまま何も操作を行わない状態が約 90 分続くとブザーが鳴り、自動的にヒーターの通電が止まります。

製品について

各部のなまえ

■ 本 体

表示部

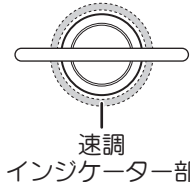
— 0. — } 奥側コンロの状態を表示
 — 0. — } 手前側コンロの状態を表示

操作パネル

火力ダイヤル



速調ダイヤル



操作パネル

ストッパー
キャスター

吸気フラップ



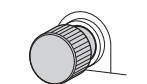
前扉

トッププレート

サーモスタット

開閉アーム

後扉



ドレンコック
(本体裏側)

整流板
(本体底部)

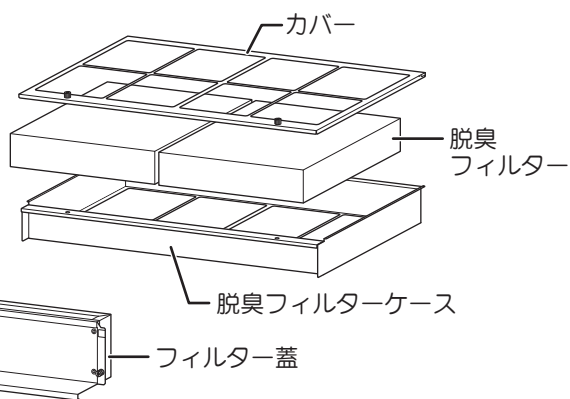
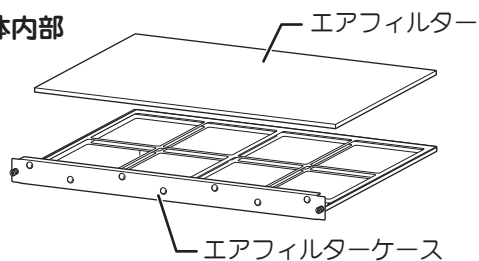
電源コード

電源プラグ

オイルパック

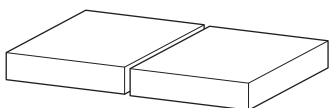
電源スイッチ

本体内部

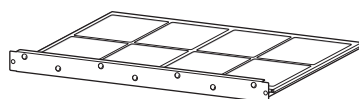


250V 30A

■ 付属品

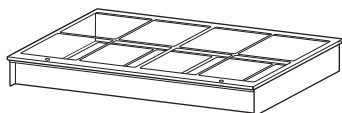


脱臭フィルター【2枚】

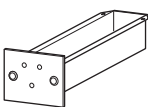


エアフィルターケース【1個】

※ エアフィルターはあらかじめセットされています。



脱臭フィルターケース【1個】

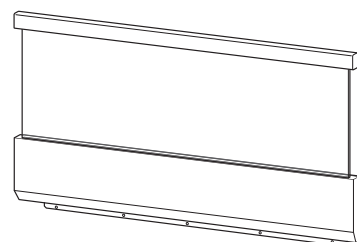


オイルパック【1個】



ローレットねじ
【6本】

■ 別売品



シェード

設置のしかた

警告



濡れ手禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



必ず守る

- 定格 30A 以上のコンセントを単独で使用する
他の器具と併用すると分岐コンセント部が異常発熱して発火することがあります



使用禁止

- 交流単相 200V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります



必ず守る

- 電源プラグは、根元までしっかりと差し込むこと
差し込みが不完全な場合、感電や発熱による火災の原因になります



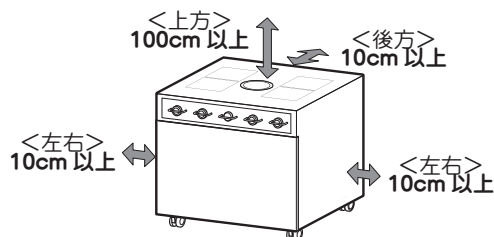
禁止

- 延長コードを使用する場合は、定格 30A 以上のものを使用すること
異常発熱して発火することがあります



必ず守る

- 壁や周囲から以下の距離を離して設置すること
移動できないように固定し、外部へ排气するためのダクトを接続するなどの改造はしないでください



禁止

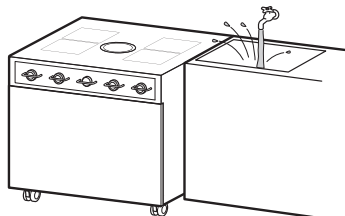
- 延長コードを使用する場合は、束ねたままの状態で使用しないこと
異常発熱して発火することがあります

注意



使用禁止

- 高温・多湿の場所や水のかかる場所で使用しないこと
ショートなどによる感電や火災の原因になります



正しく設置する

- 不安定な場所に設置したり、傾いた状態で設置しないこと
鍋がすべり落ち、内容物がこぼれてやけどやけがをするおそれがあります



注意

- 前扉を開閉する際は、開閉アームのすき間に指などを挟まないよう注意すること
けがをするおそれがあります

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の熱が直接当たる場所に設置しないでください
変形や変質、変色の原因になります

- 扉や窓などから入る風や、エアコンの風の影響を受けないようにしてください
煙の捕集性能が悪くなる場合があります

- カーテンなどで吸込口・吹出口がふさがれる場所に置かないでください
誤動作や故障の原因になります

- 長期間、同じ場所で使用を続けると、製品の吸い込み気流により周辺の床・壁などが汚れることがあります

設置のしかた

以下の手順に従って、正しく設置をおこなってください。

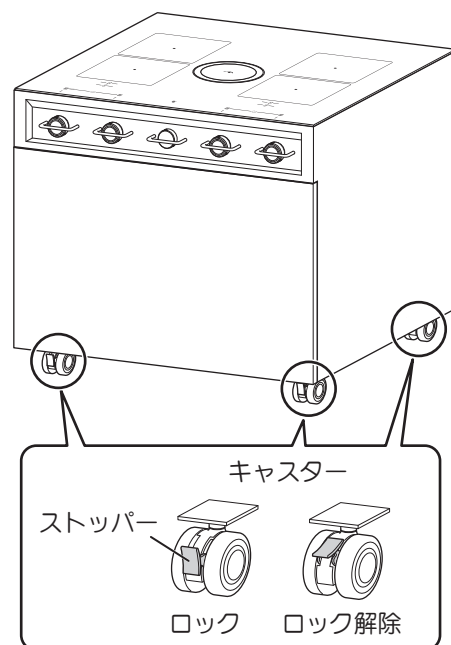
1 使用する場所に本体を移動し、キャスターをロックします。

全輪 4 ヶ所のキャスターにはストッパーが付いています。

本体を設置する位置が決まったら、キャスターのストッパー部を前側に倒してロックします。

ご注意

- 水平で安定した場所に設置してください。
(水準器等を使って確認してください。)
- 設置後は必ずキャスターを 4 つともロックしてください。ロックをせずに使用すると、調理中に本体が動いて内容物がこぼれるなどにより、やけどやけがをするおそれがあります。

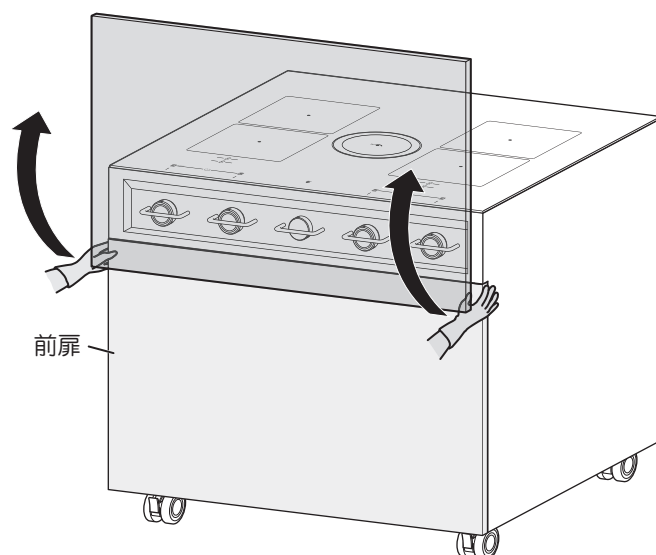


2 前扉を開きます。

本体正面にある前扉の両端を持って手前に引くと、前扉が右図矢印の方向に開きます。

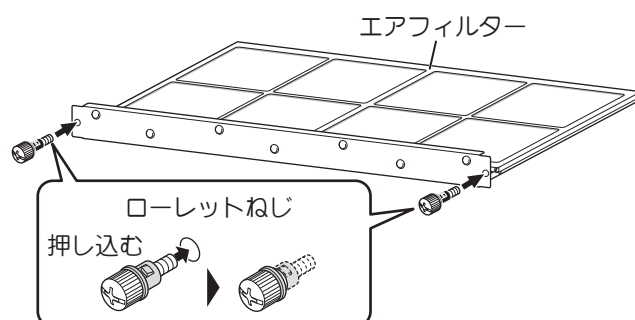
お願い

- 前扉は 300mm ほどせり出しながら開きます。前扉を開く際は、前扉側にスペースを確保してから開いてください。
- 前扉はダンパーにより開閉の補助をします。開閉時は開閉アームや前扉に指などを挟まないようご注意ください。



3 エアフィルターケースにローレットねじを取り付けます。

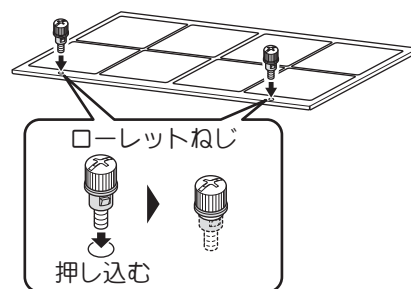
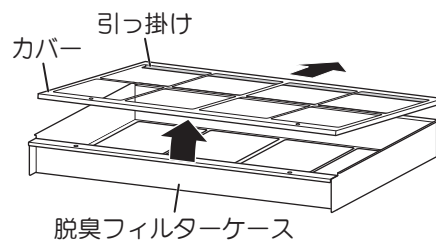
付属品のエアフィルターケースの右図穴位置に、付属品のローレットねじ 2 本を押し込んで取り付けます。



設置のしかた

4 脱臭フィルターケースにローレットねじを取り付けます。

- 1) 付属品の脱臭フィルターケースからカバーをはずします。
- 2) カバーの右図穴位置に、付属品のローレットねじ2本を押し込んで取り付けます。

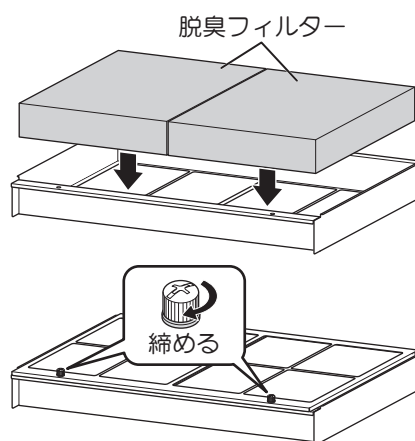


5 脱臭フィルターを取り付けます。

脱臭フィルターを袋から取り出し、脱臭フィルターケースに2個並べてセットしたあと、カバーの後側を脱臭フィルターケースに引っ掛けてローレットねじを締め付けて固定します。

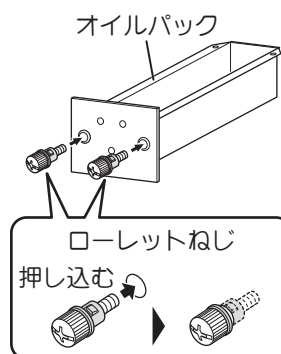
お願い

脱臭フィルターは、落下させたり、強くぶつかけたりすると、破損したり粉が落ちることがありますので、取り扱いには十分注意してください。



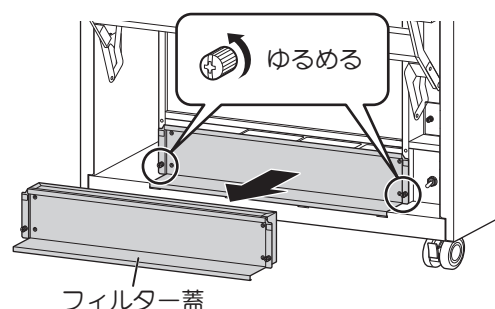
6 オイルパックにローレットねじを取り付けます。

付属品のオイルパックの右図穴位置に、付属品のローレットねじ2本を押し込んで取り付けます。



7 フィルター蓋をはずします。

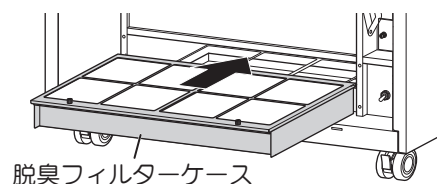
本体下部にあるローレットねじ2本をゆるめ、フィルター蓋を取りはずします。



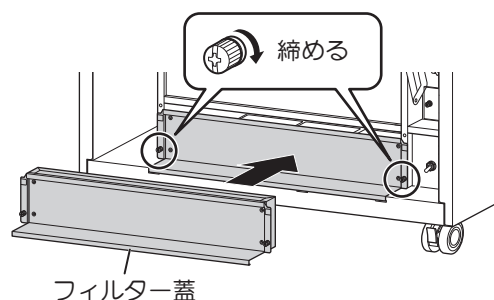
設置のしかた

8 脱臭フィルターケースを取り付けます。

- 1) 手順5で組み立てた脱臭フィルターケースを、本体に水平に差し込みます。

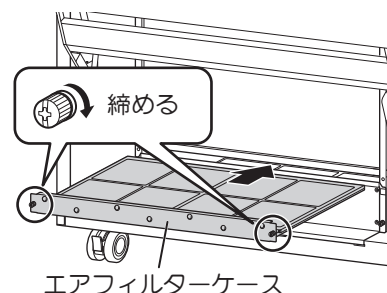


- 2) 手順7ではずしたフィルター蓋を取り付け、ローレットねじ2本を締め付けて固定します。



9 エアフィルターケースを取り付けます。

手順3で組み立てたエアフィルターケースを、本体右図位置に水平に差し込み、ローレットねじ2本を締め付けて固定します。

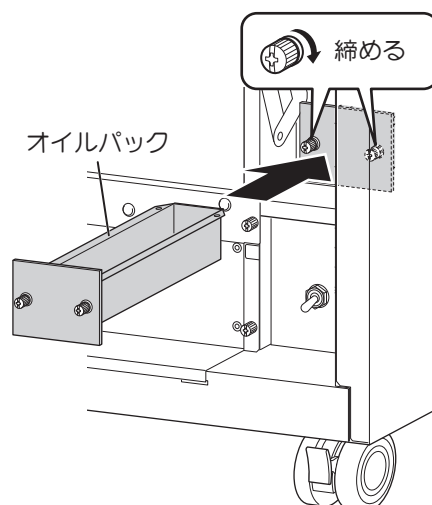


10 オイルパックを取り付けます。

手順6で組み立てたオイルパックを、本体右図位置に水平に差し込み、ローレットねじ2本を締め付けて固定します。

お願い

前扉は動きが止まるまで上に上げてください。
開閉アームに干渉してオイルパックが取り付けられないことがあります。



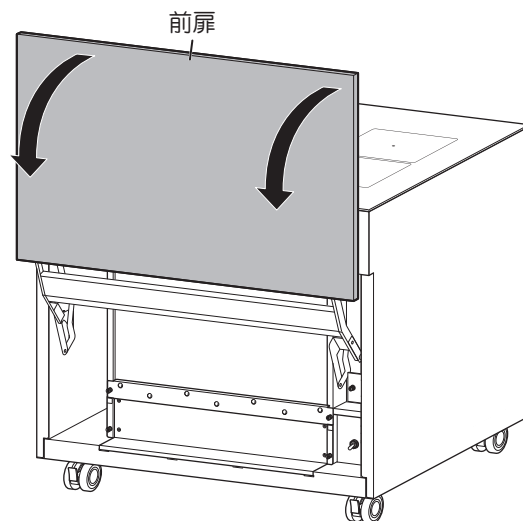
設置のしかた

11 前扉を閉じます。

前扉の両端に手を掛けて下方に下ろし、前扉を閉じます。

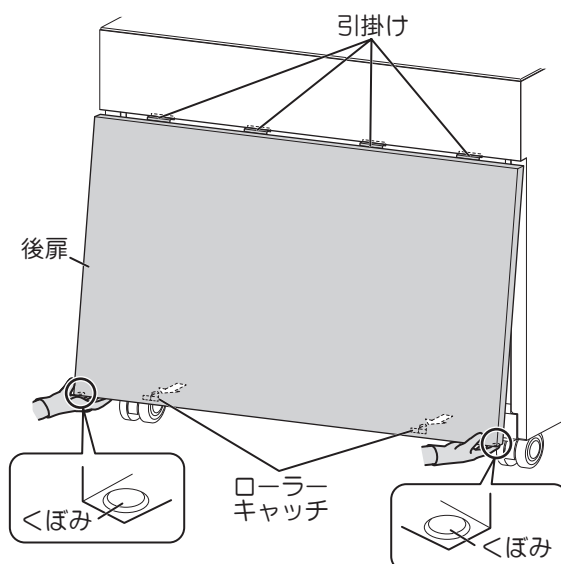
ご注意

前扉はダンパーにより開閉の補助をします。
開閉時は開閉アームや前扉に指などを挟まないよう
ご注意ください。



12 後扉をはずします。

- 1) 本体背面にある後扉の下部両角にあるくぼみに指を掛け、少し手前に引くとローラーキャッチがはずれます。
- 2) そのまま後扉を両手で持ち、上端の引掛け部 4ヶ所をはずします。

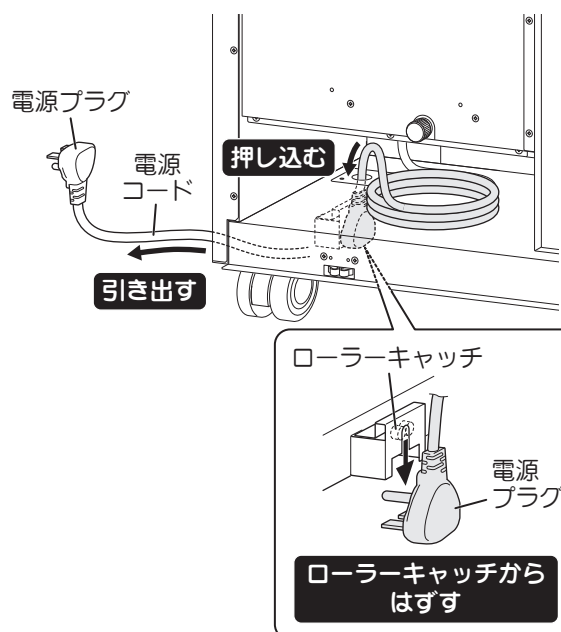


13 電源プラグを引き出します。

- 1) 電源プラグは本体背面下部の左下奥にあるローラーキャッチに固定されています。本体内側から、電源コードを下方に押し込むと、電源プラグを固定しているローラーキャッチからはずれます。
- 2) 電源コードを穴から送り出すようにしながら、電源プラグ・電源コードを本体から引き出します。

お願い

電源コードは本体内部に余らせずに引き出して
ください。

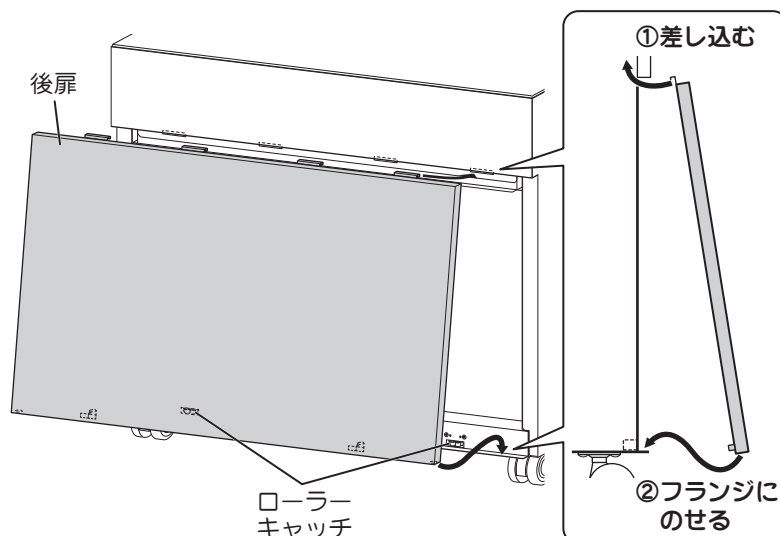


14 電源プラグをコンセントに差し込みます。

設置のしかた

15 後扉を取り付けます。

- 1) 後扉上端の引掛け部 4 ヶ所を本体の取り付け部に差し込み、後扉下端を本体のフランジに載せます。
- 2) 後扉下部を押し込むとローラーキャッチにより固定されます。

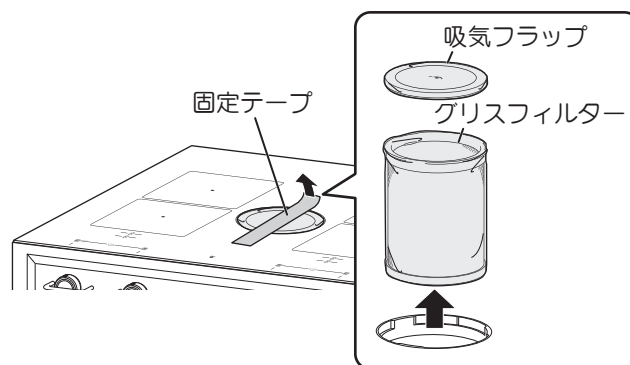


16 吸気フラップとグリスフィルターを取りはずします。

本体上部中央の輸送用の固定テープをはがし、吸気フラップとグリスフィルターを取り出し、ポリ袋から取り出します。

お願い

必ずポリ袋から取り出してください。



17 グリスフィルターと吸気フラップを取り付けます。

グリスフィルターと吸気フラップの取り付けかたについては「取り付けのしかた」(➡ 24 ページ) を参照してください。

移動のしかた

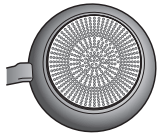
前項「設置のしかた」手順 12 ～手順 15 を逆の手順でおこない、電源プラグと電源コードを本体に格納してから移動させてください。

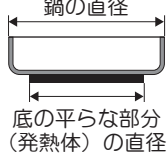
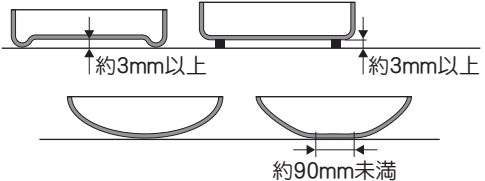
お願い

移動の際に段差を乗り越えるなどの振動を与えると、脱臭フィルターが破損するおそれがありますので十分ご注意ください。

使いかた

使用できる器具

材質について	● 鉄、鉄鋳物、鉄ホーロー (耐熱性)		○	● ホーロー鍋は、空焼きしたり焦げ付かせないようにする（ホーローが溶けてくっつき、トッププレートを損傷する原因になります。）
	● ステンレス		18-0 ※磁石がよくつく	○
			18-8 18-10	△ ● 火力が弱くなる ● 厚さ 1mm 以上のものは使えない場合がある
	● 貼り付け鍋 (鍋の底にステンレスなどを貼り付けている) ● 多層鍋 ● 溶射鍋 (鍋の底に鉄などをコーティングしている)		△	● 多層で間に鉄をはさんでいるものや、底が 18-0 ステンレスのものは使える ● 鍋の底の材質により火力が弱くなったり、使えないものがある
	● 陶磁器（土鍋など）		×	● 「IH ヒーターで使える」と表示があっても使わない（形状などによっては本製品が故障します。）
	● 銅、アルミ		×	
	● 耐熱ガラス		×	

形状について	○	● 調理可能な鍋の直径… 12 ～ 25cm ● 鍋底の平らな部分の検知直径… 9 ～ 22cm ※ 鍋底の直径に対して、鍋の直径が大きいと熱が伝わりにくくなり、調理が上手にできないことがあります。	
	×	● 底に 3 mm 以上の反りや脚があるもの ● 底の丸いもの（中華鍋など） ● 底の直径が 90mm 未満のもの ※ 安心機能が正しくはたらかません。また火力が弱くなったり、使えない場合もあります。（本体故障の原因）	

- 底が薄いものは、底が変形することがありますので、低めの火力でお使いください。
- 底が薄いものや底が反っているものは、強火で予熱すると赤熱する場合があります。
- 同じ火力設定でも、鍋の材質・形状・大きさなどにより、消費電力や加熱状態が異なる場合があります。
- 同じ鍋を使用しても、各 IH ヒーターで消費電力や加熱状態が異なる場合があります。
- 背の高い鍋（10cm 以上）を使用すると、捕集性能が低下することがあります。

使いかた

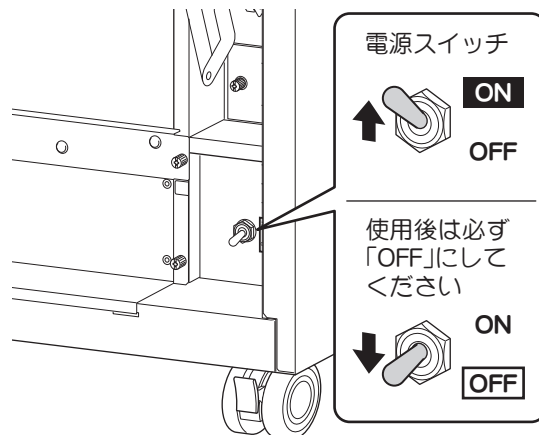
電源を入れる・切る

本製品を使用するには、本体内部の電源スイッチを「ON」にします。

- 1) 前扉を開く (⇒ 10 ページ、手順 2)
- 2) 電源スイッチ (右図参照) を「ON」にする
- 3) 前扉を閉じる (⇒ 13 ページ、手順 11)

お願い

ご使用後は必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。



吸気運転をする

お願い

調理中は必ず吸気運転をおこなってください。

● 吸気運転を開始する

天板中央にある吸気フラップをまっすぐに引き起こす

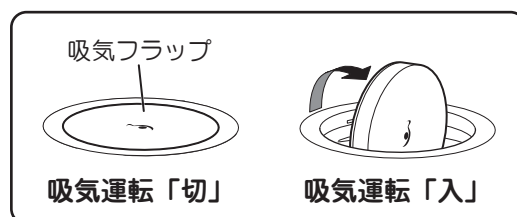
【速調 1】で吸気運転を開始します。

※ 吸気運転中は操作パネル中央にある速調インジケータが点灯し、現在の風量を表示します。

※ 速調は 4 段階に切り替えることができます。

(下記「速調を切り替える」参照)

※ 吸気運転は IH コンロの運転状態にかかわらず運転を入／切できます。

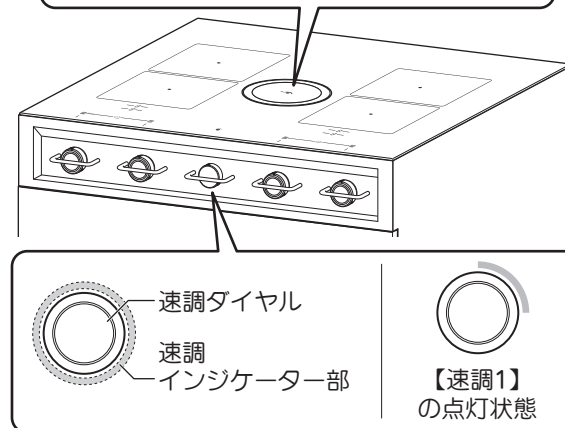


● 吸気運転を停止する

吸気フラップを閉じると吸気運転を停止します。

※ 吸気フラップを閉じていても通電はしています。

完全に停止するには、速調ダイヤルを「OFF」にしてください (下記参照)。

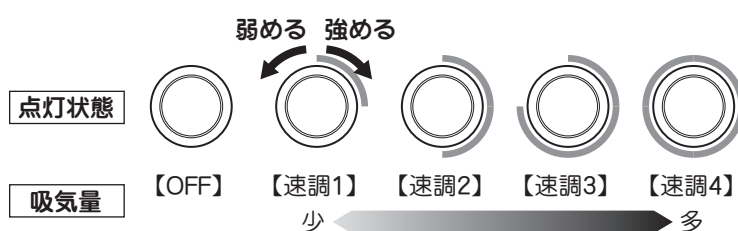


速調を切り替える

吸気運転中に操作パネル中央にある速調ダイヤルを回す

速調は 4 段階に切り替えることができます。

速調ダイヤルを右に回すと吸気量が多くなり、左に回すと少なくなります。



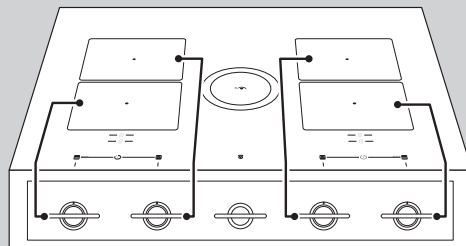
使いかた

IH ヒーターを使う

IH ヒーターは 4 口あり、操作部とヒーター部の位置関係は右図のようになっています。

お願い

調理中は必ず吸気運転をおこなってください。



■基本的な加熱調理のしかた

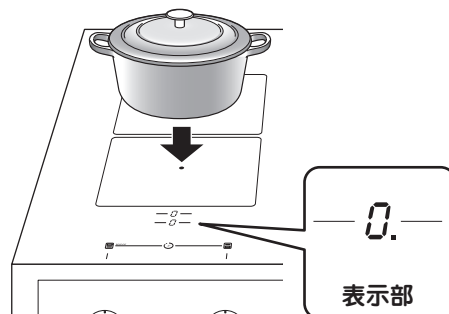
1

鍋に調理物を入れ、IH ヒーターの中央に置く

トッププレートの枠、および枠中央の●印を目安にしてください。

※ 火力ダイヤルを右にひねり、左に戻して表示部に「0」が表示されたことを確認してください。

※ 「0」が表示されてから 10 秒間操作を行わない则表示が消えます。その場合は再度操作をおこなってください。



2

火力ダイヤルを回して火力を調節する

表示部に現在の火力が表示されます。

火力ダイヤルを右に回すと火力が強くなり、左に回すと弱くなります。

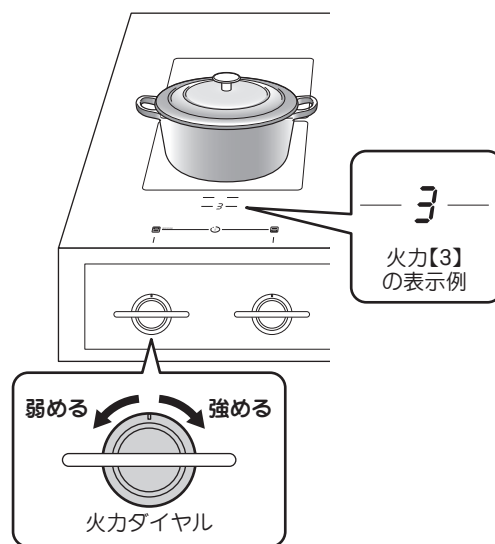
火力は【1】～【9】の 9 段階あります。

ご注意

- 表示部に「E」が表示された場合は、お使いの鍋が IH クッキングヒーターに対応していない可能性があります。IH クッキングヒーター対応の鍋に調理物を移し替えてからお使いください。
- 鍋を載せていないと火力の調節はできません。
- 前後の IH ヒーターで【9】を同時に使用することはできません。後から設定された IH ヒーターが優先され、先に設定した IH ヒーターの火力が【8】に戻ります (→ 20 ページ)。

※ 他にも以下の加熱調理機能をお使いいただけます。

- 急速加熱機能【ブーストモード】(→ 18 ページ)
- 温度固定加熱機能【フォンデュモード】(→ 18 ページ)
- 鉄板焼などヒーター 2 口を使った調理機能【ブリッジモード】(→ 19 ページ)
- 沸騰保温機能【ボイル保温モード】(→ 20 ページ)



3

調理が終わったら、火力ダイヤルを左に回して火力を【0】にする

ご注意

調理終了後はトッププレートのガラス面が高温になり、表示部に「H」が点滅します。表示が消えるまではガラス面に触れないでください。

使いかた

■急速加熱機能【ブーストモード】を使う

【ブーストモード】は、通常の最大火力【9】よりもさらに火力をおよそ 35% 上げて、急速加熱をおこなうモードです。お湯を早く沸かしたいときなどにお使いいただけます。

※最大使用時間は 10 分間です。ブーストモードが終了すると、火力【9】に戻ります。

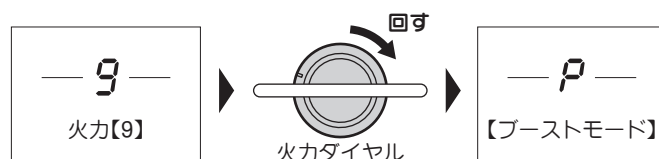
●ご注意

- 【ブーストモード】で野菜炒めなどの高温調理をおこなう場合、10 分以内であっても自動的に火力が【9】に戻ることがあります。
- 前後の IH ヒーターで【ブーストモード】を同時に使用することはできません。
後から設定した IH ヒーターが優先され、先に設定した IH ヒーターの火力が【5】に戻ります（⇒ 20 ページ）。

●【ブーストモード】にする

火力【9】の状態から、火力ダイヤルをさらに右に回す

表示部が「9」から「P」に変わり【ブーストモード】で加熱をおこないます（最大 10 分間）。



●【ブーストモード】を途中で終了するとき

火力ダイヤルを左に回す

表示部が「P」から設定した火力の表示に変わります。

■温度固定加熱機能【フォンデュモード】を使う

【フォンデュモード】は、通常の最小火力【1】よりもさらに弱い火力で、一定の温度で加熱をおこなうモードです。バターやチョコレートを溶かすときや、長時間の煮込み料理などにお使いいただけます。

※温度設定は 3 段階（44 / 70 / 94℃）あります。

●ご注意

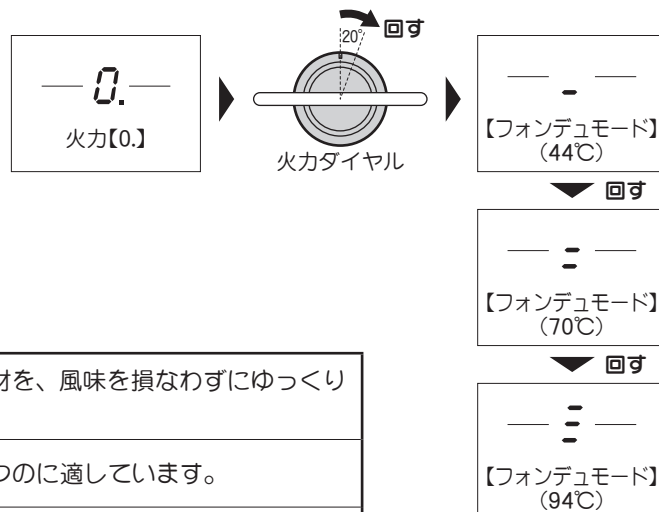
- 【フォンデュモード】は火力の上昇がゆっくりなため、料理の温め直しには向きません。
- 温度は目安です。鍋の材質などにより、設定温度と異なる場合があります。

●【フォンデュモード】にする

表示が「0」の状態のとき、火力ダイヤルを右におよそ 20 度回す

表示部が「0」から「-」に変わり【フォンデュモード】（44℃）になります。

もう 20 度回すと「=」に変わり 70℃、もう 20 度回すと「≡」に変わり 94℃に切り替わります。

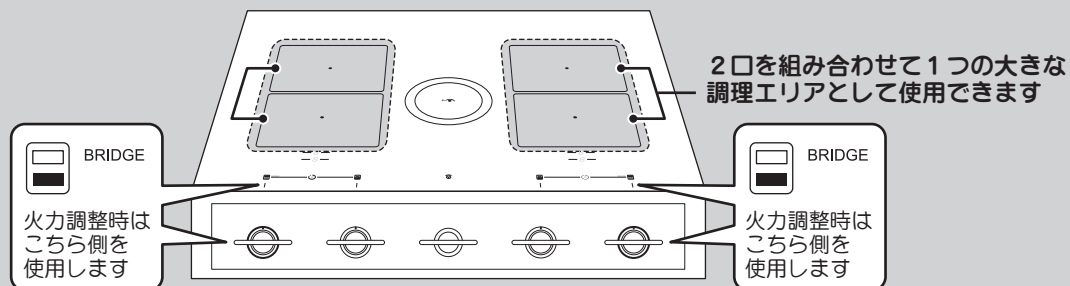


44℃	-	チョコレートやバターなどのデリケートな素材を、風味を損なわずにゆっくりと溶かすのに適しています。
70℃	=	沸騰させることなく、食品をデリケートに保つのに適しています。
94℃	≡	トマトソース、ラグソース、スープなど長時間の煮込み料理に適しています。調理温度を維持し、底面の焦げつきを防ぎます。 ● 事前に調理物を沸騰させてから、この機能を使用してください。

使いかた

■ヒーター2口を使った調理機能【ブリッジモード】を使う

【ブリッジモード】では、ヒーター2口を組み合わせることで1つの大きな調理エリアとして使用することが可能です。鉄板焼きやグリル調理などにお使いいただけます。

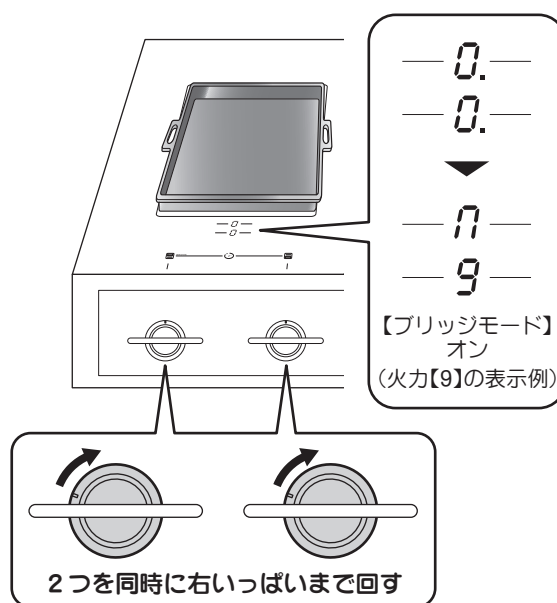


●【ブリッジモード】をオンにする

ブリッジモードにしたい側の火力ダイヤル2つを右にいっぱいまで回し、そのままの状態でも1～2秒間待つ表示部が右図のように変われば【ブリッジモード】がオンの状態です。

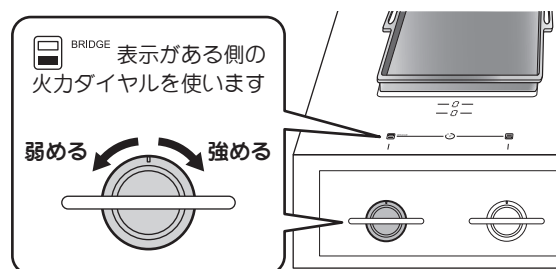
ご注意

- 【ブリッジモード】のご使用中は【ブーストモード】は使用できません。
- ブリッジモードで使用する鉄板のサイズは、前後のIHヒーター2口分の大きさを目安に選定してください。



●火力を調節するとき

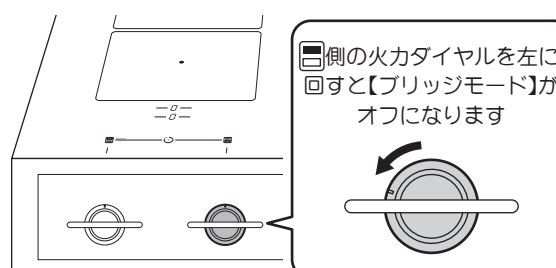
「BRIDGE」表示がある側の火力ダイヤルを回して調節する



●【ブリッジモード】を終了するとき

もう一方（「BRIDGE」表示がない側）の火力ダイヤルを左に回す

10秒後に表示部の「9」が消え、加熱が止まります。続けて操作をおこなう場合は、両方の火力ダイヤルを【0.】に戻してから操作をおこなってください。



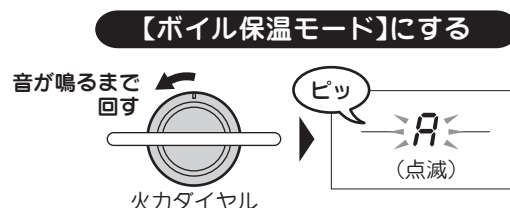
使いかた

■沸騰保温機能【ボイル保温モード】を使う

【ボイル保温モード】は、沸騰したあとに設定した火力設定で加熱を続けるモードです。
下ゆでのときなどにお使いいただけます。

1 「ピッ」と音が鳴るまで火力ダイヤルを左に回したままにする

「A」が点灯から点滅表示に切り替わったら、火力ダイヤルから手を離します。



2 火力ダイヤルを回し、設定したい火力にする
【ボイル保温モード】になります。



【ボイル保温モード】運転中は、表示部に「A」と設定した火力が交互に表示されます。

※ 火力は【1】～【9】のいずれかに設定できます。

※ 【ボイル保温モード】運転中に、火力ダイヤルを回して火力を変えることもできます。

※ 【ボイル保温モード】を途中で終了するときは、火力ダイヤルを【0】に戻してください。



＜ボイル保温モード終了後＞



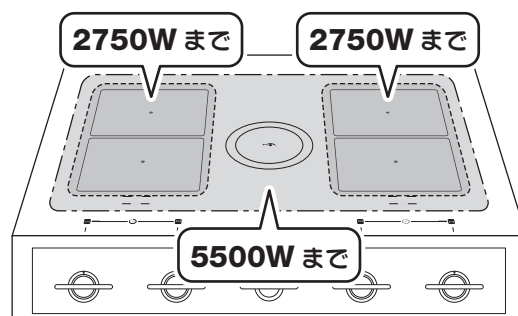
沸騰が終わると「A」の点滅表示が消え、設定した火力で加熱を続けます。
表示部は火力設定の点灯表示になります。

■IH ヒーターの火力・使用制限について

各加熱源の消費電力の合計が総消費電力値を越えないようにIHヒーターの火力を自動で調整することで、電力の使いすぎを抑制します。

2～4口のIHヒーターを同時に使うと、IHヒーターの最大火力が制限される場合があります。このとき、IHヒーターの火力を上げようとしても、操作を受け付けません。

他のIHヒーターの火力を下げるか、加熱を停止してから再操作してください。



- あとから使おうとするIHヒーターの火力が優先され、先に使っていたIHヒーターの火力が制限されます。
- 同時に使用するIHヒーターの組み合わせによっても、火力制限があります。

使いかた

火力と調理の目安

設 定	火 力	調理の種類	おもな調理例
P (ブースト)	最大	急速加熱	食材の温度を素早く上昇させることができます。 湯沸かしや、汁ものを素早く加熱するのに適しています。
8~9		焼く・煮る	焦げ目をつけたいときや早く火を通したいとき、冷凍食品を揚げるとき、短時間で沸騰させたいときなどに適しています。
7~8	強	焼く・炒める・煮る	揚げ物、煮炊き、焼き物に最適です。(短時間なら 5 ~ 10 分程度)
6~7		焦げ目をつける・とろ火で煮る・炒める・焼く	揚げ物、煮込み料理、焼き物 (平均時間 10 ~ 20 分) に最適です。
4~5	中	通常調理・とろ火で煮る・フライ・グリル	煮込み料理、軽い沸騰状態を保ちたいとき、長時間の調理に最適です。
3~4		通常調理・煮物・とろみをつける・攪拌	水、ワイン、スープ、牛乳などの液体がある状態で、調理物 (パスタ、米、ソース、ロースト、魚など) をかき混ぜながらゆっくりと調理するのに最適です。
2~3			水、ワイン、スープ、牛乳などを使用したスロークッキング (容量 1 リットル以下: 米、ソース、ロースト、魚) に最適です。
1~2	弱 (低消費電力)	溶解・融解・保温・攪拌	バターを柔らかくしたり、チョコレートを優しく溶かしたり、小さな食品の解凍に適しています。
1			調理したばかりの少量の料理を保温したり、リゾットのかき混ぜなどに最適です。
0.	OFF	非加熱	加熱スタンバイ状態またはオフ状態です。 ※ 調理終了時の余熱がある場合は、高温注意警告「 H 」の表示が出ることがあります。

おもな調理の例

種類	メニュー・調理	調理工程 1	設 定	調理工程 2	設 定
パスタ、米	生パスタ	水を加熱する	ブースト~9	パスタの調理と茹で上がりの維持	7~8
	炊き込みご飯	水を加熱する	ブースト~9	ご飯を炊き込む	5~6
	リゾット	調理具材を揚げる・炒める	7~8	煮る	4~5
野菜、豆類	煮込み	水を加熱する	ブースト~9	煮込む	6~7
		調理具材を加熱	7~8	調理	3~4
	揚げ物	油を加熱する	9	揚げる	8~9
	ソテー	調理具材を加熱	7~8	調理	6~7
	炒める	調理具材を加熱	7~8	焦げ目をつける	7~8
肉類	ロースト	油で焼く (バターの場合は 6)	7~8	調理	3~4
	焼き料理	調理器具を予熱する	7~8	両面焼き	7~8
	焦げ目をつける	油で焼き目をつける (バターの場合は 6)	7~8	調理	4~5
	とろ火で煮る	調理具材に焼き目をつける (バターの場合は 6)	7~8	煮る	3~4
魚	焼き料理	調理器具を予熱する	7~8	調理	7~8
	とろ火で煮る	油で焼き目をつける (バターの場合は 6)	7~8	煮る	3~4
	炒める	フライパンでバターを温める	7~8	揚げ物	7~8
卵	オムレツ	フライパンでバターや油脂を温める	6	調理	5~7
	半熟/固ゆで	水を加熱する	ブースト~9	調理	5~6
	パンケーキ	フライパンでバターを温める	6	調理	6~7
ソース	トマトソース	調理具材に焼き目をつける (バターの場合は 6)	6~7	煮る	3~4
	ミートソース	調理具材に焼き目をつける (バターの場合は 6)	6~7	煮る	3~4
	ベシャメルソース	ベースの準備 (バターと小麦粉を溶かす)	5~6	ダマにならないように混ぜる	3~4
デザート等	カスタード		4~5	加熱する	4~5
	プディング	牛乳を温める	4~5		2~3
	ライスプディング		5~6		2~3

お手入れのしかた

警告



濡れ手禁止

- 電源プラグは、ぬれた手で抜き差ししないこと
感電やけがをするおそれがあります



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと
ショート・感電のおそれがあります



プラグを抜く

- お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜くこと
感電やけがをするおそれがあります

注意



取付注意

- お手入れの際にはずした部品は、確実に取り付けること
落下によりけがをするおそれがあります



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



お手入れの際のお願い

- 調理直後のお手入れはしない
・ 調理直後はトッププレートのガラス面が熱くなっていますので、電源スイッチを切って冷めるまでお待ちください。
- お手入れはこまめにする
・ 油分が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗装面が変質して塗装はがれの原因になります。
【変質がひどいと擦っただけではがれることがあります。】
・ 早めにお手入れいただきますと、汚れも簡単に落とせると同時に塗装面の劣化も防げます。
- 中性洗剤を使う
・ お手入れの際には中性洗剤をご使用ください。右図のものを使用されますと塗装面が変色したり、キズが付いたり、はがれたりするおそれがあります。
汚れがひどく、アルカリ性洗剤を使われる場合は、洗剤に表示されている使用上の注意をよくお読みになって、目立たないところで試してからご使用ください。
- 金属ブラシやタワシなどの硬いものでふき取らない
・ 処理面をキズ付けますので使用しないでください。
- 熱湯は変形のもと
・ 60℃以上の熱湯は使用しないでください。樹脂部品が変形するおそれがあります。
- 食器洗い乾燥機は使用しない
・ 取りはずした部品は食器洗い乾燥機で洗わないでください。塗装がはがれるおそれがあります。



お手入れのしかた

取りはずしのしかた

1

電源を切ります。

電源プラグをコンセントから抜きます。

お願い

電源スイッチが「OFF」になっていることを確認してください。

2

吸気フラップをはずします。

吸気フラップを起こし、まっすぐに引き上げます。

3

グリスフィルターを取り出します。

本体内部にあるグリスフィルターを両手で持ち、まっすぐ上に引き上げます。

お願い

グリスフィルターを落したりして変形させないでください。(異音の原因になります。)

4

前扉を開き、オイルパックを取り出します。

前扉を開き(→ 10 ページ 手順 2 参照)、本体内部右側にあるオイルパックのローレットねじ 2 本をゆるめ、オイルパックをまっすぐ手前に引き出します。

※ 捕集した水や油はオイルパックにたまりますが、使用状況によってたまる量は異なります。量が少なくても異常ではありません。

ご注意

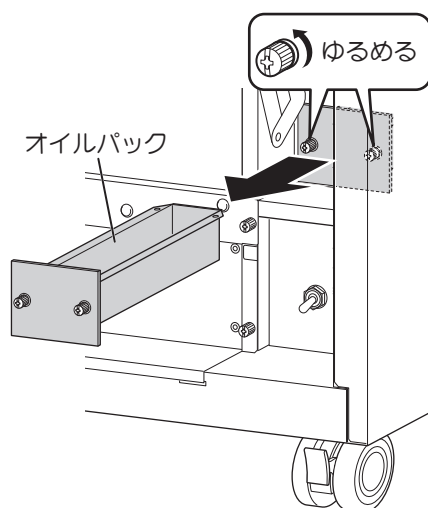
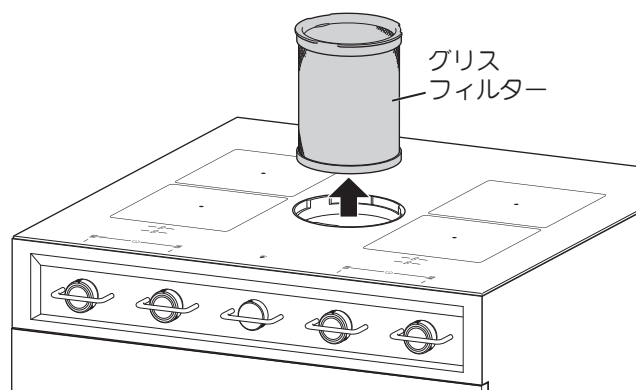
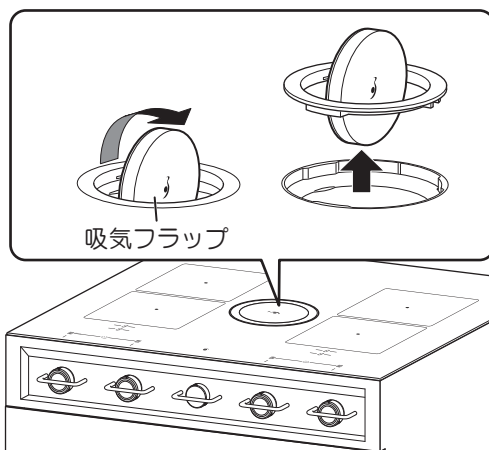
- 前扉は動きが止まる場所まで上に上げてください。開閉アームに干渉してオイルパックが取り出せないことがあります。
- 取り出す際は、オイルパックに水や油等がたまっている場合がありますので、十分ご注意ください。

注意



両手で
支える

- 部品の取り付けまたは取りはずしの際は、部品を落とさないように両手でしっかりと支えること
落下によりけがをするおそれがあります



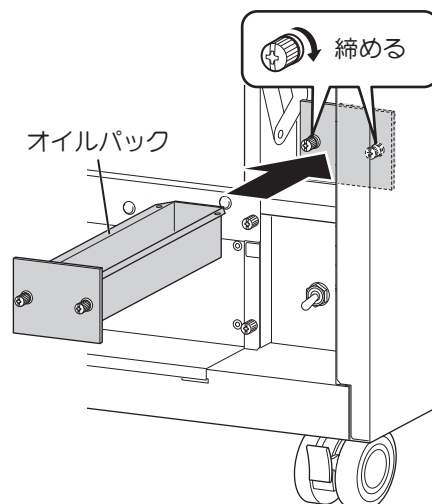
お手入れのしかた

取り付けのしかた

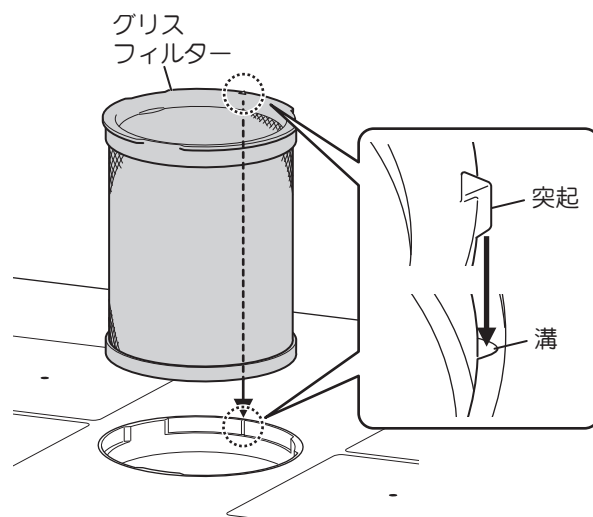
- 1** オイルパックを取り付け、前扉を閉じます。
本体右図位置にオイルパックを水平に差し込み、ローレットねじ2本を締め付けて固定したあと、前扉を閉じます（➡ 13 ページ 手順 11 参照）。

お願い

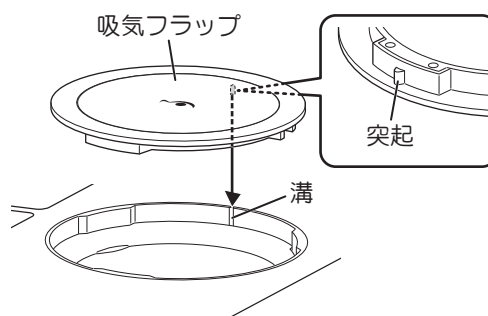
前扉は動きが止まるまで上に上げてください。
開閉アームに干渉してオイルパックが取り付けられないことがあります。



- 2** グリスフィルターを取り付けます。
グリスフィルターを両手で持ち、グリスフィルターの突起と本体取り付け部の溝を合わせて、まっすぐに差し込みます。



- 3** 吸気フラップを取り付けます。
吸気フラップの突起と本体取り付け部の溝を合わせてはめ込みます。



お手入れのしかた

フィルターの取り付け・取りはずし

各部をお手入れしたあとも、においの捕集性能が低下したと感じたら、フィルターの交換が必要です。

お願い

使用済みの各フィルターは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理してください。
(各フィルターのメンテナンスについては➡ 30 ページをご覧ください。)

1

前扉を開きます。

(➡ 10 ページ 手順 2 参照)

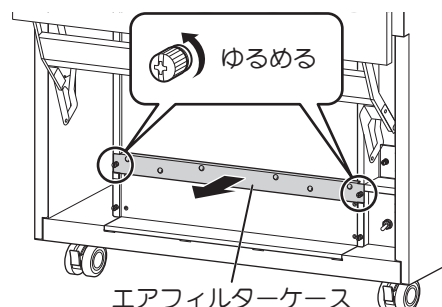
2

エアフィルターケースを取り出し、エアフィルターを交換します。

【はずしかた】

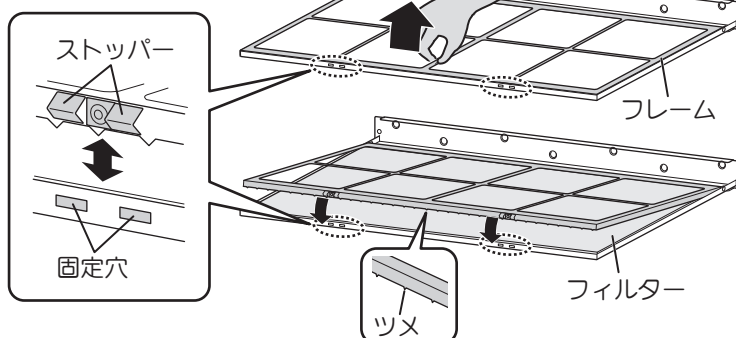
エアフィルターを固定しているローレットねじ 2 本をゆるめ、エアフィルターケースをまっすぐ手前へ取り出します。

※ ローレットねじは、エアフィルターケースからはずれません。



【フィルター交換のしかた】

- 1) エアフィルターケースのフレームに指をかけ、ゆっくり持ち上げるようにして 2 ヶ所のストッパーをはずし、フレームを開きます。
- 2) 古いフィルターを取り出し、新しいフィルターをフレーム内に収めます。
- 3) フィルターがはみ出したり、折れ曲がったりしないよう注意しながらフレームを元通りに閉じます。



※ フレームのツメでフィルターがしっかりと押さえられ、ズレなどが無いことを確認してください。

※ フレームにあるツメでけがをしないようご注意ください。

【取り付けかた】

エアフィルターケースを、元の位置に水平に差し込み、ローレットねじ 2 本を締め付けて固定します。

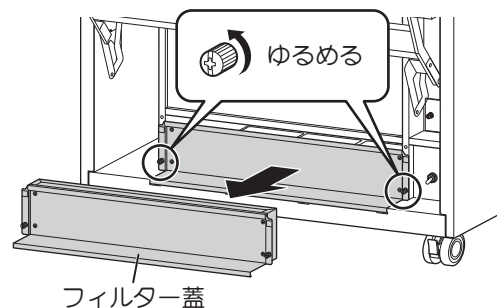
お手入れのしかた

3

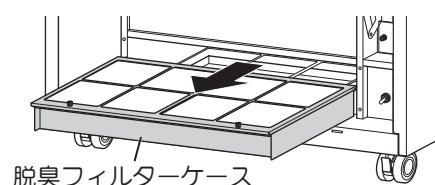
脱臭フィルターケースを取り出し、脱臭フィルターを交換します。

【はずしかた】

- 1) フィルター蓋を固定しているローレットねじ2本をゆるめ、フィルター蓋をはずします。



- 2) 脱臭フィルターケースをまっすぐ手前へ取り出します。

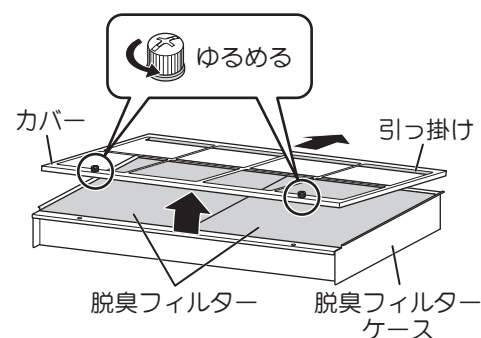


【フィルター交換のしかた】

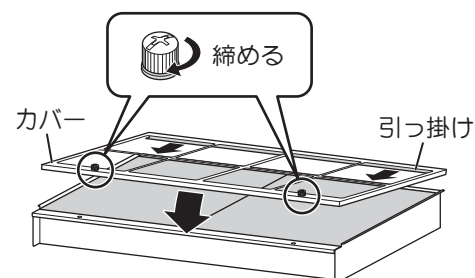
- 1) 脱臭フィルターケースのローレットねじ2本をゆるめてカバーをはずします。
- 2) 古いフィルターを取り出し、新しいフィルターをケース内に収めます。

お願い

脱臭フィルターは、落下させたり、強くぶついたりすると、破損したり粉が落ちることがありますので、取り扱いには十分注意してください。



- 3) カバーの後側を脱臭フィルターケースに引っ掛け、ローレットねじを締め付けて固定します。



【取り付けかた】

- 1) 脱臭フィルターケースを、元の位置に水平に差し込みます。
- 2) フィルター蓋を取り付け、ローレットねじ2本を締め付けて固定します。

4

前扉を閉じます。

(→ 13 ページ 手順 11 参照)

お手入れのしかた

送風機の油抜きのかた

天ぷらなどの油を大量に使った調理を頻繁におこなう場合は、以下の手順に従い、定期的に送風機に溜まった油を抜いてください。

【油抜きのかた】

- 1) 油の受け皿を準備します。
- 2) 後扉をはずします (➡ 13 ページ手順 12 参照)。
- 3) ドレンコックの下に受け皿をあてがいながらキャップをゆるめて油を抜きます。
お願い
キャップをなくさないようご注意ください。
- 4) 油を抜き終わったら、キャップを締め付けて、後扉を取り付けます (➡ 14 ページ手順 15 参照)。

お願い

キャップは確実に締め付けてください。
締め付けがゆるいと油がたれるおそれがあります。



お手入れのしかた

各部品のお手入れのしかた

取りはずしのしかた、取り付けのしかたは→ 23 ～ 24 ページをご覧ください。



警告



水かけ禁止

- 電気部品（モーター・スイッチ等）は、水・洗剤等の液体につけたりかけたりしないこと

ショート・感電のおそれがあります



注意



手袋をする

- お手入れの際は、必ず厚手の手袋をすること

鋼板の切り口や角でけがをするおそれがあります



こまめにお手入れしてください。

油が付着した状態で長期間ご使用になりますと、酸化した油で塗膜面が変質して塗膜はがれの原因になります。早めにお手入れいただきますと、汚れも簡単に落とせますし、塗膜面の劣化も防げます。

■ グリスフィルター（汚れたらその都度お手入れしてください。）

あらかじめグリスフィルターを水に浸しておき、やわらかいスポンジなどでグリスフィルターの目に沿って水洗いをしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を使用して洗ってください。

汚れを落とした後は、水気を取ってから取り付けてください。

目詰まりを放置すると、性能低下や異音・振動の原因になります。



中性洗剤

お願い

- グリスフィルターは食器洗い乾燥機に入れないでください。塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。
- 金属ブラシやタワシなどの固いものは、表面をキズ付けますので使用しないでください。

■ 吸気フラップ（汚れたらその都度お手入れしてください。）

やわらかい布などで油をふき取り、ぬるま湯で薄めた中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。

その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。



中性洗剤

お願い

- 吸気フラップは食器洗い乾燥機に入れないでください。塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。
- 金属ブラシやタワシなどの固いものは、表面をキズ付けますので使用しないでください。

お手入れのしかた

■ オイルパック (汚れたらその都度お手入れしてください。)

やわらかい布などで油をふき取り、ぬるま湯で薄めた中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ洗ってください。

その後、洗剤が残らないように水洗いし、水気を取ってから取り付けてください。

※ 水や油はオイルパックにたまりますが、使用状況によってたまる量は異なります。
量が少なくても異常ではありません。



お願い

- オイルパックは食器洗い乾燥機に入れないでください。塗膜の劣化により、塗装がはがれるおそれがあります。
- 金属ブラシやタワシなどの固いものは、表面をキズ付けますので使用しないでください。

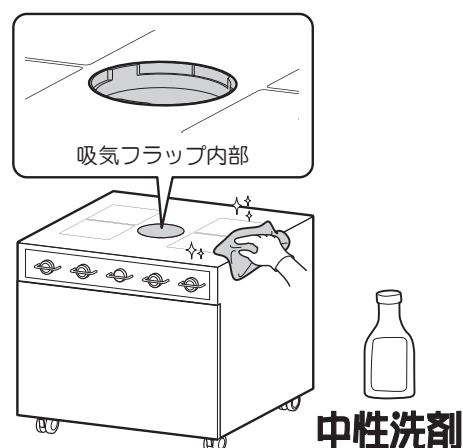
■ トッププレート・本体・吸気フラップ内部 (汚れたらその都度お手入れしてください。)

ぬるま湯で薄めた中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。

その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

お願い

金属ブラシやタワシなどの固いものは、表面をキズ付けますので使用しないでください。



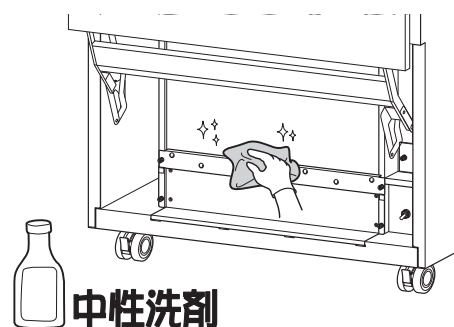
■ 本体内部 (フィルター交換の際にお手入れしてください。)

ぬるま湯で薄めた中性洗剤をやわらかいスポンジや布に含ませ、汚れをふき取ってください。

その後、洗剤が残らないように水で湿らせた布でよくふき取ってください。

お願い

- 金属ブラシやタワシなどの固いものは、処理面をキズつけますので使用しないでください。
- フィルターの粉が落ちる場合があります。
粉が衣服等に付着した場合、落ちなくなることがありますので取り扱いは十分注意してください。



お手入れのしかた

各フィルターについて

エアフィルター、脱臭フィルターの水洗いはできません。汚れた場合は新しいフィルターに交換が必要です。
※ 各フィルターにつきましては、お電話・FAX またはホームページ（フジオショップ）にてご購入いただけます（下記参照）。

エアフィルター、脱臭フィルターの交換について

フィルターの交換時期は本製品のご使用頻度により異なります。
においの捕集性能が低下したと感じたら、フィルターを交換してください。
※ 交換の際は、各フィルターともに本製品専用のフィルターをご使用ください。

別売交換用フィルター

品 名	品 番
エアフィルター（1 枚）	ACFAF-60331
脱臭フィルター（2 枚）	ACFRK-29296

お願い

使用済みの各フィルターは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従い適切に処理してください。

各フィルターの材質について

エアフィルター	ガラス繊維
脱臭フィルター	セラミック

フィルターのお申し込み・お問い合わせは

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903（通話料無料）
FAX 042-768-3383
ホームページ <https://www.fujioh.shop>
受付時間 9:00 ～ 17:30（土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く）



故障かなと思ったら

修理を依頼されるまえに 次の点をもう1度お調べください。

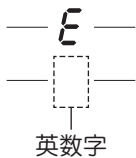
症 状	考えられる原因	処 置
● 運転しない（吸気運転もIHヒーターの加熱もどちらもしない）	● 電源スイッチが「OFF」になっている。 ● 分電盤のブレーカーが「切」になっている。 ● 電源プラグがはずれている。	● 前扉を開け、電源スイッチを「ON」にする。（⇒ 16 ページ参照） ● 分電盤のブレーカーを「入」にする。 ● 電源プラグを差し込む。
● 吸気運転しない	● 吸気フラップが閉まっている。 ● 周囲が異常温度になっている。	● 吸気フラップをまっすぐに引き起こす。（⇒ 16 ページ参照） ● 「お客様ご相談窓口」に連絡する。（⇒ 33 ページ参照）
● IHヒーターが加熱しない	● 鍋を置いていない。 ● IHクッキングヒーター対応でない鍋を使っている。	● 鍋を置いていないと加熱が始まりません。 ● IHクッキングヒーター対応の鍋を使う。（⇒ 15 ページ参照）
● 調理中に火力が弱まった、加熱が止まった	● 過熱防止機能が働いた。 ・ 鉄板調理など、230℃で 30 分以上加熱していると、150℃に低下します。 ・ 前後 2 口同時でお湯を沸かすとき、沸騰してから 30 分後に 90℃前後で加熱します。 ● IHクッキングヒーター対応でない鍋を使っている。鍋検出機能により、適切な調理器具が検知されない場合は、10 分後に自動的にオフになります。	● 調理を再開するには火力を【0.】にし、高温警告「H」の表示が消えてから調理してください。（⇒ 17 ページ参照） ● IHクッキングヒーター対応の鍋を使う。（⇒ 15 ページ参照）
● ブザーが鳴り、加熱が止まった	● 90 分間何も操作を行わない状態が続いた。	● 何も操作を行わない状態が 90 分間続くとブザーが鳴り、自動的に加熱が止まります。
● オイルバックに水や油がたまらない	● 使用環境に応じて水や油のたまり具合が異なるため。 ● 本体内面などに水や油がついている。	● オイルバックに水や油がたまってから捨てる。（⇒ 23 ページ参照） ● 本体内面についた水や油はその都度ふき取る。（⇒ 29 ページ参照）
● 異音がする	● 吸気フラップから本体内部に液体や調理物が入った。	● 「お客様ご相談窓口」に連絡する。（⇒ 33 ページ参照）
● においが取れない	● フィルターが汚れている。（使用頻度が多いか、使用限度を超えている。）	● フィルターを交換する。（⇒ 25 ページ参照）
● 吸い込みが悪い	● グリスフィルターが汚れて目詰まりしている。 ● エアコンや窓からの風で煙が横にもれる。 ● エアフィルターまたは脱臭フィルターが汚れている。（使用頻度が多いか、使用限度を超えている。） ● 背の高い鍋を使用している。	● グリスフィルターをお手入れする。（⇒ 28 ページ参照） ● 風があたらないようにする。 ● フィルターを交換する。（⇒ 25 ページ参照） ● 背の低い（10cm 未満）鍋を使用する。（⇒ 15 ページ参照）

（次ページに続く）

故障かなと思ったら

■エラーコードについて

エラーコードが表示された場合は、故障の可能性があります。

表 示	原 因	対処方法
	本体内部に異常が起きた、または安全装置が働いた可能性があります。	本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、故障の状況とエラーコード（表示部の英数字）を、お買い上げの販売店もしくは弊社「お客様ご相談窓口」（➡ 33 ページ）にご連絡ください。

仕 様

定格電圧 (V)	速調	定格周波数 (Hz)	消費電力 (W)	風量 (m³/h)	騒音 (dB)	製品質量 (kg)
単相 200	4 速	50	5690	555	48	110
		60	5770	630	51	
	3 速	50	5650	510	46	
		60	5700	510	46	
	2 速	50	5640	480	44	
		60	5670	435	43	
	1 速	50	5620	390	39	
		60	5630	315	35	

消費電力、風量、騒音の測定は JIS C 9603 による。

騒音値、風量は実際の使用条件では変化しますのでご了承ください。

本製品に使用している部品は、性能向上などのために予告なしに一部変更することがあります。

本製品は日本国内用に設計されています。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。

また、アフターサービスもお受けできません。

本製品は産業廃棄物に該当します。関係法令や条例に従い、適切に処理をしてください。

アフターサービス（必ずお読みください）

補修用性能部品の最低保有期間

- 当社はこの製品の補修用性能部品を製造打ち切り後6年保有しています（交換用フィルターを除く）。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または富士工業株式会社「お客様ご相談窓口」までお問い合わせください。

- 製品の保証期間は、お買い上げ後取扱説明書、本体貼付ラベルの注意書に従った正常なご使用状態において1年間です。

ただし、次の場合には保証期間内でも有料になります。

- (1) 火災、地震、風水害、落雷、その他天地災害、異常電圧等不慮の事故および海岸付近、温泉地等の地域における腐食性の空気環境により生じた故障および損傷。
- (2) 使用上の誤り、改造等による故障および損傷。
- (3) ねずみ、昆虫等の動物の行為に起因する不具合。

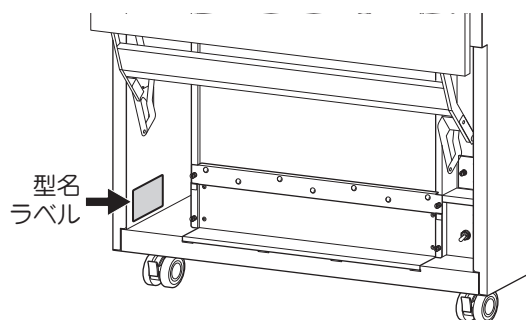
富士工業株式会社
「お客様ご相談窓口」

0120-071-686（通話料無料）

お問い合わせ受付時間 9:00～17:30
（土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く）

修理を依頼されるときは

➡ 31 ページに従って調べていただき、なお異常のあるときはご使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてから、お買い上げの販売店にご連絡ください。



ご連絡していただきたい内容

品 名	循環式IH調理ワゴン AC01-961
型 名	
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども併せてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

お買い上げの際に記入しておくサービス依頼されるときに便利です。

★長年ご使用の製品の点検を

愛情点検



ご使用の際、
このような
症状はあり
ませんか？

- スイッチを入れても、動かないときがある。
- 運転中に異音や振動がある。
- 焦げ臭いにおいがする。
- その他、異常・故障がある。



ご使用
中 止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、ブレーカーを切り、必ず販売店に点検・修理をご相談ください。

修理料金の仕組み

- 修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
- 技術料は、診断・故障箇所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
- 部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
- 出張料は、お客様のご依頼により、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

保証書

出張修理

型名	AC01-961		
保証期間	1年間	★お買い上げ日	年 月 日
★お客様	ご住所 〒□□□-□□□□		
	お名前	様	TEL ()
★販売店	住所		 または サイン
	店名	TEL ()	

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。もし、記入がない場合には直ちにお買い上げの販売店にお申し出ください。本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

■お客様の個人情報の取り扱いについて

当社および当社関係会社(以下「当社」)は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報(以下「個人情報」)を、下記の通りお取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
なお、修理やその確認業務を当社の協力会社へ委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。
2. 当社は、お客様の個人情報を適切に管理します。
3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

無料修理規定

本書は、本書記載内容で、無料修理させていただくことをお約束するものです。

1. お客様の取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用状態で、保証期間中に故障した場合には、お買い上げの販売店に出張修理をご依頼のうえ、修理に際して、本書をご提示ください。無料修理させていただきます。
2. なお、保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。
3. つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (2) お買い上げ後の落下や輸送上の故障および損傷。
 - (3) 火災、塩害、ガス害、地震、風水害、落雷、異常電圧およびその他の天災地変による故障および損傷。
小動物や虫の行為による故障および損傷。
 - (4) 本書のご提示がない場合。
 - (5) 本書にお客様名、お買い上げ日、販売店名のない場合、あるいは字句を書きかえられた場合。
 - (6) 車輛、船舶などに、備品として使用した場合に生ずる故障および損傷。
 - (7) 消耗部品（フィルターなど）の交換。
 - (8) 取扱説明書に記載された方法以外の取付内容に起因する故障および損傷。
 - (9) 建築躯体の変形など対象商品以外の不具合に起因する故障および損傷。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。This warranty is valid only in Japan.
5. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
6. ご転居・ご贈答等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、本書の『お客様ご相談窓口』にご相談ください。
7. 離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理をおこなった場合は、出張に要する実費を申し受けます。

お客様へ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間などについて、詳しくは本書「アフターサービス」の項をご覧ください。なお、ご不明の場合は、お買い上げの販売店または弊社にお問い合わせください。

修理記録	年 月 日	修 理 内 容	担 当 者

販売元： **-FUJIOH-** 富士工業販売株式会社 〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

製造元： **-FUJIOH-** 富士工業株式会社 お客様ご相談窓口 **0120-071-686**

長期使用製品安全表示制度に基づく本体表示について

(本体への表示内容)

※ 経年劣化により危害の発生が高まるおそれがあることを注意喚起するために電気用品安全法で義務付けられた右の内容の表示を本体におこなっています。

(設計上の標準使用期間とは)

※ 運転時間や温湿度など、標準的な使用条件に基づく経年劣化に対して、製造した年から安全上支障なく使用することができる標準的な期間です。

※ 設計上の標準使用期間は、無償保障期間とは異なります。また、偶発的な故障を保証するものでもありません。

●「経年劣化とは」

長期間にわたる使用や放置に伴い生ずる劣化をいいます。



【製造年】

本体に西暦 4 ケタで表示してあります。

【設計上の標準使用期間】

7 年

設計上の標準使用期間を超えてお使いいただいた場合は、経年劣化による発火・けが等の事故に至るおそれがあります。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

当社および当社関係会社（以下「当社」）は、お客様よりお知らせいただいたお客様の氏名・住所などの個人情報（以下「個人情報」）を、下記の通り、お取り扱いします。

1. 当社は、お客様の個人情報を、当社製品のご相談への対応や修理およびその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。

なお、修理やその確認業務を当社の協力会社に委託する場合、法令に基づく義務の履行または権限の行使のために必要な場合、その他正当な理由がある場合を除き、当社以外の第三者に個人情報を開示・提供いたしません。

2. 当社は、お客様の個人情報を、適切に管理します。

3. お客様の個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

修理依頼について

修理を依頼される時は、お買い上げの販売店または富士工業株式会社「お客様ご相談窓口」にご連絡ください。

お客様メモ	購入店名	電話	(	)
	ご購入年月日	年	月	日

『フィルター』などの交換品のご購入は

フジテックメンテナンス株式会社

お申し込み・お問い合わせ 0120-953-903（通話料無料）

FAX 042-768-3383

ホームページ <https://www.fujioh.shop>

受付時間 9:00～17:30（土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く）



〔製造元〕 **-FUJIOH-** 富士工業株式会社

〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1番9号

お客様ご相談窓口 0120-071-686（通話料無料）

受付時間 9:00～17:30（土、日、祝日、夏期休暇、年末年始を除く）